

Ⅱ 額田寺出土瓦・採集瓦の概説

寺院の堂塔の興亡は、出土瓦から解明できる。しかし、額田寺は周辺部しか発掘していないので、今後の調査研究に期待する点が多い。現状では、採集瓦を中心に、額田寺の変遷を推測するほかない。額田寺で採取された古代瓦は、各地の研究機関などに分散しているため、実物同士を直接比較することが困難で、写真や拓本をもとに推測を交えて議論せざるを得ない。その検討成果は、本書収録の上原論文「額田寺出土瓦の再検討」を参照されたい。ここでは、再録した図の通し番号をもとに、全体を概観するに留める。

額田寺の創建を示すのが、1～5の素弁葉蓮華紋軒丸瓦である。すべて採集瓦だが、採集地点も判明しており信頼に足る。古新羅系軒丸瓦と評価されることが多く、7世紀第2四半期の実年代が考えられる。斑鳩地域の諸寺などには類例のない額田寺独自の瓦と考えていたが、花谷浩の教示によれば、橿原市和田廃寺（葛木寺）で酷似例が出土しているとの由。額田寺の創建と飛鳥地域との関わりを示唆する重要な指摘である。38の手彫り唐草紋軒平瓦は発掘で出土した瓦で、年代的には7世紀初頭にさかのぼるが、額田寺の成立をそこまで遡らせるのは躊躇する。前園実知雄はひかえめに『大安寺伽藍縁起並流記資財帳』にみる熊凝道場との関連を示唆する。6～8は西琳寺系列山田寺式軒丸瓦で、7世紀中葉の実年代が考えられる。この瓦は斑鳩地域や飛鳥地域の諸寺には類例がなく、大和川舟運による中河内地域との直接の結びつきが想定される。

額田寺伽藍の最初の整備を示すのが、9～14の複弁八葉蓮華紋軒丸瓦と40～46の均整忍冬唐草紋軒平瓦、すなわち法隆寺式軒瓦の組合せである。法隆寺式軒瓦と言っても額田寺独自の范型で製作しており、かなりの量の製品が過去に採集されているので、法輪寺や法起寺などの斑鳩諸寺と同様、7世紀前半に創建された小規模寺院（あるいは一堂寺院）が、7世紀末～8世紀初頭に伽藍を整備したととらえたい。ただし、その整備の具体相は伽藍中枢の発掘成果を待つほかはない。

続く8世紀中葉に至って、本共同研究の主題である「額田寺伽藍並条里図」に示された額田寺伽藍が整備される。それが7世紀段階の旧伽藍を取り込んで成立したのか、全面的な建替えの結果であるのかは、今後の発掘成果を待つほかはない。8世紀中葉の整備に対応するのが、26～30の外区外縁に唐草紋帯がめぐる単弁八葉蓮華紋軒丸瓦と、51～54の平城宮式の系譜を引く均整唐草紋軒平瓦の組合せである。いずれも額田寺独自の范型で製作しており、発掘調査でも採集資料でも額田寺における古代瓦のもっとも主体を占める。南都七大寺式鬼瓦62もこれに伴うものだろう。17～19の複弁八葉蓮華紋軒丸瓦も、26～30について数の多い8世紀の軒丸瓦で、51～54の古い段階に属する段額の製品（51）と組合うとする説もあるが、均整唐草紋軒平瓦49との組合せも考えられる。

自余の古代瓦は出土量も少なく、額田寺寺史のなかで積極的に位置づけることはできないし、なかには額田寺所用瓦と断言しにくいものもある。以下、簡単に解説する。15・47は藤原宮式軒瓦であるが、藤原宮出土例とは異范だ。16は法隆寺式軒丸瓦の擬古作。10世紀前後のものであろうか。20～25・50は平城宮・京に同范例がある。いずれも8世紀のもの。31・48は年代観に異論があるが、飛鳥・斑鳩地域の寺院や平城京内寺院に同范例がある。平安時代のものか。32～37は平安時代、55～60は中世のもの。61の素弁六葉蓮華紋鬼板は近代の擬古作の可能性が高い。

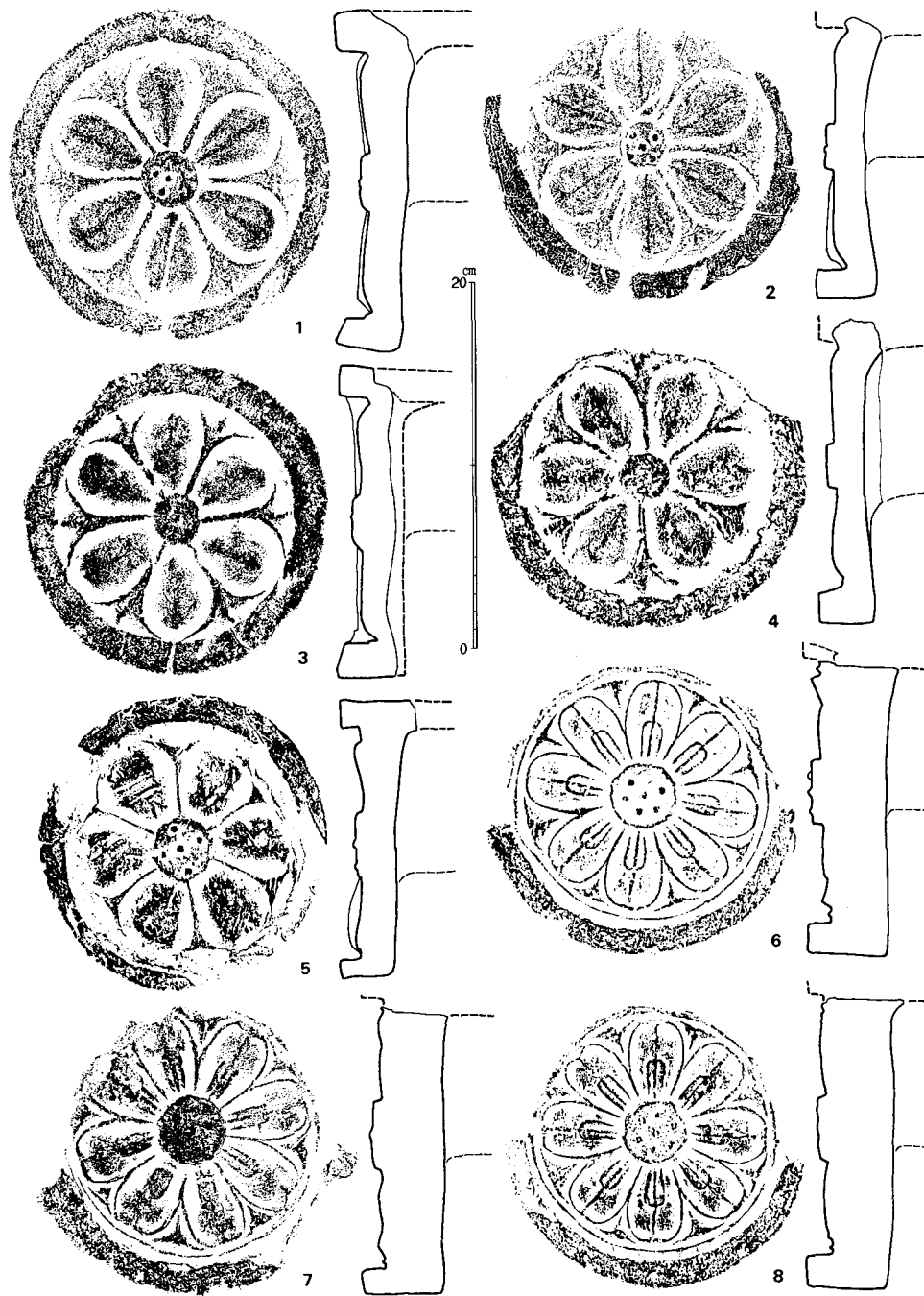


図1 額田寺出土瓦(1)

- 1 素弁六葉蓮華紋軒丸瓦 [橋本 1957] [奈博 1960-58] [山川 1993-1]
- 2 素弁六葉蓮華紋軒丸瓦 [山川 1993-2]
- 3 素弁六葉蓮華紋軒丸瓦 [天沼 1921-図版第 11 (1)]
- 4 素弁六葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第 53 (疏瓦 4)] [石田 1936-図版第 153 (1)]
- 5 素弁六葉蓮華紋軒丸瓦 [奈博 1993-軒丸瓦 71]
- 6 単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第 53 (疏瓦 3)] [石田 1936-図版第 153 (2)]
- 7 単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [京都大学総合博物館所蔵]
- 8 単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第 15 (2)]

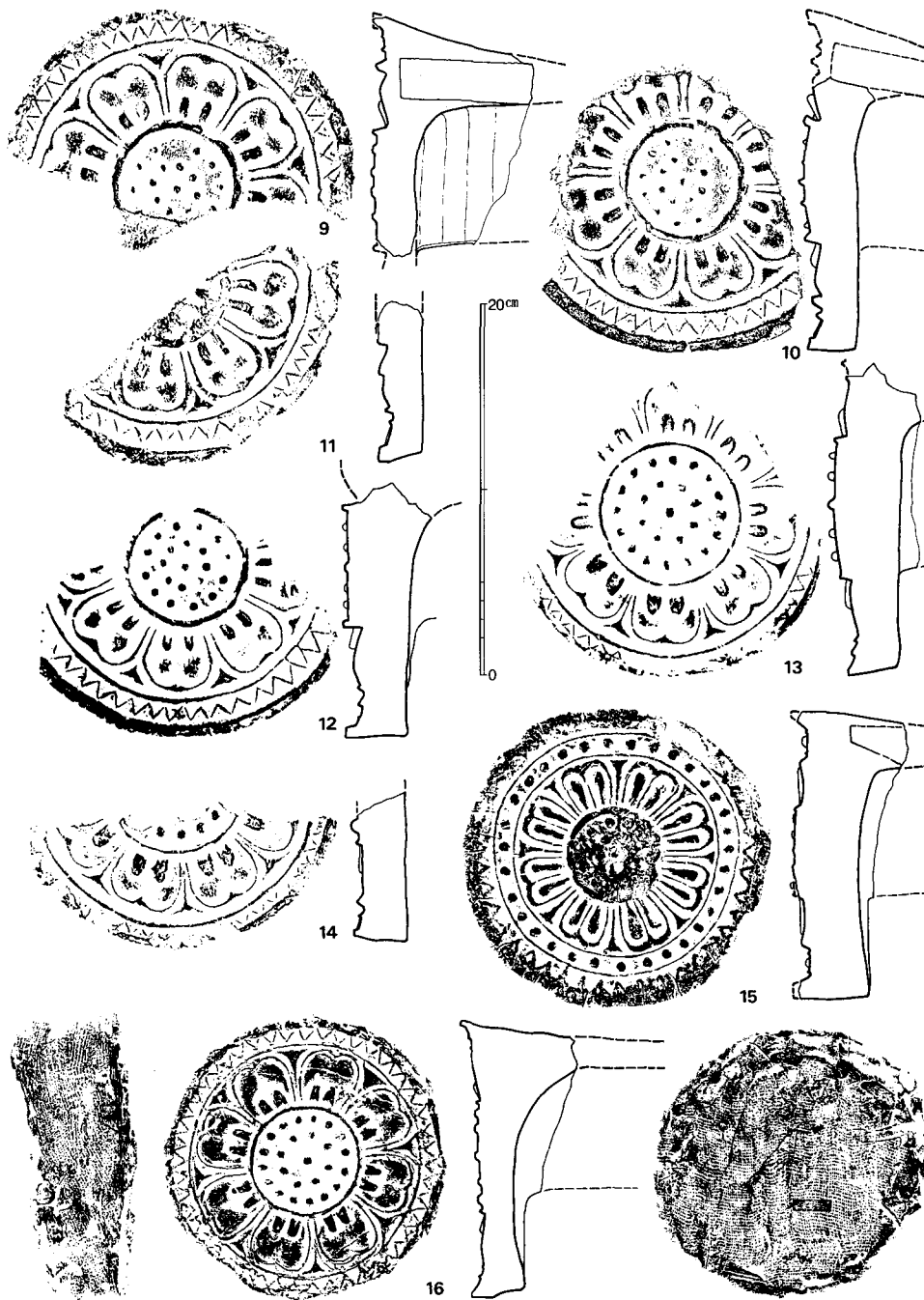


図2 額田寺出土瓦(2)

- 9 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [奈博 1960-261] [京博 1974-25]
- 10 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [京大文学部 1968-NARA039]
- 11 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第30 (1)] [保井 1932-図版第53 (疏瓦1)]
[石田 1936-図版 153 (4')]
- 12 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [関野 1928-159] [石田 1936-図版第 153 (4)]
- 13 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [関野 1901-第3図] [関野 1928-157・158] [石田 1936-図版
第153 (3)] [奈博 1960-260]
- 14 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第28 (3)] [保井 1932-図版第53 (疏瓦2)]
[石田 1936-図版第153 (3')]
- 15 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [菅井・西村 1987-113]
- 16 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [奈博 1960-262] 擬古作

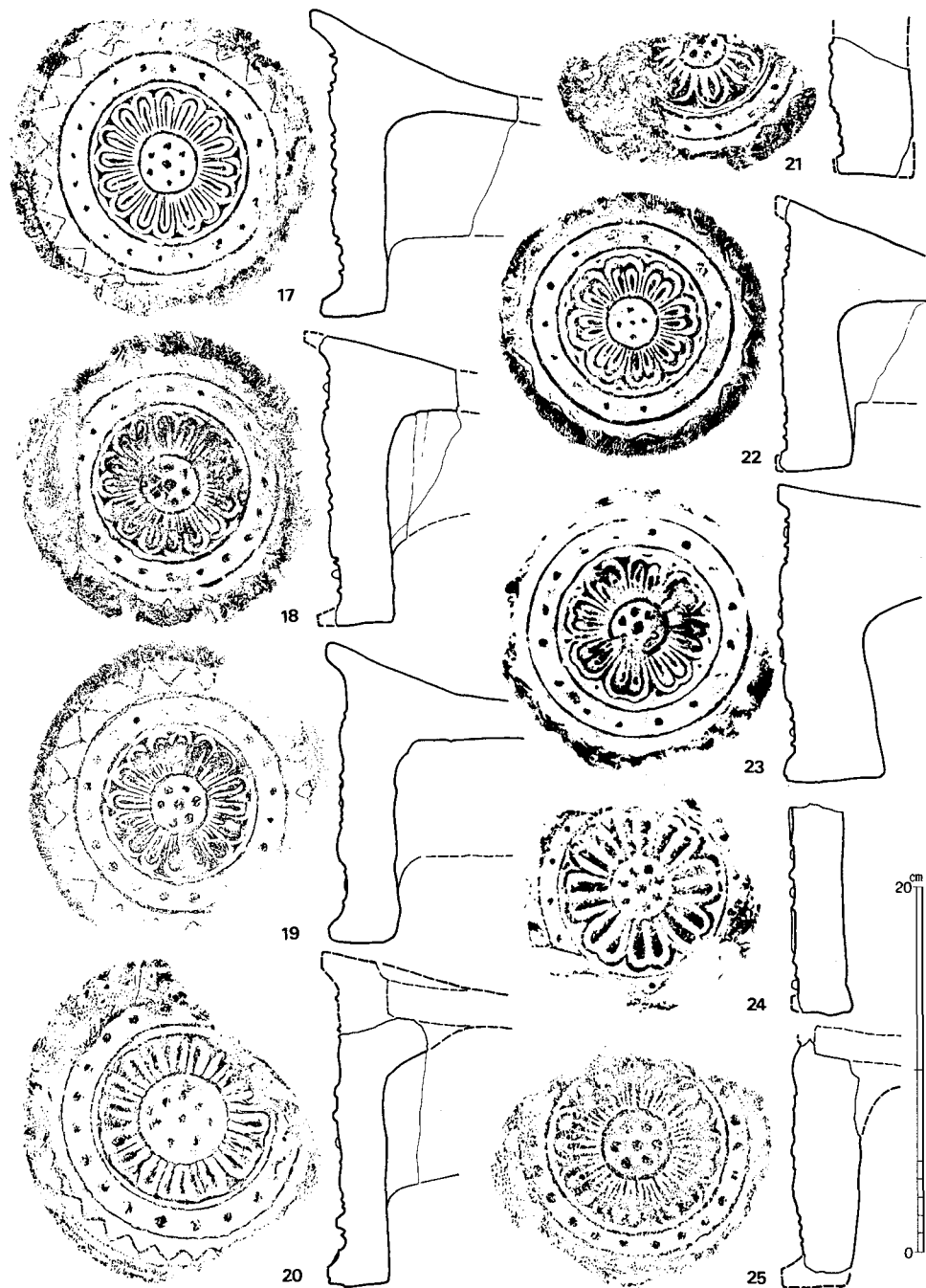


図3 額田寺出土瓦(3)

- 17 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第 17 (1)] [保井 1932-図版第 54 (疏瓦 13)]
- 18 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [天沼 1921-図版第 18 (1)]
- 19 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第 154 (7)] [山川 1993-3]
- 20 複弁九葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第 16 (2)] [保井 1932-図版第 54 (疏瓦 10)]
[石田 1936-図版第 154 (12)]
- 21 単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第 53 (疏瓦 5)] [石田 1936-図版第 154 (9)]
- 22 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第 54 (疏瓦 12)] [石田 1936-図版第 153 (6)]
- 23 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [岩井 1936-図版第 22 (110)] [石田 1936-図版第 153 (5)]
- 24 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第 155 (15)]
- 25 複弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第 54 (疏瓦 11)] [石田 1936-図版第 154 (8)]

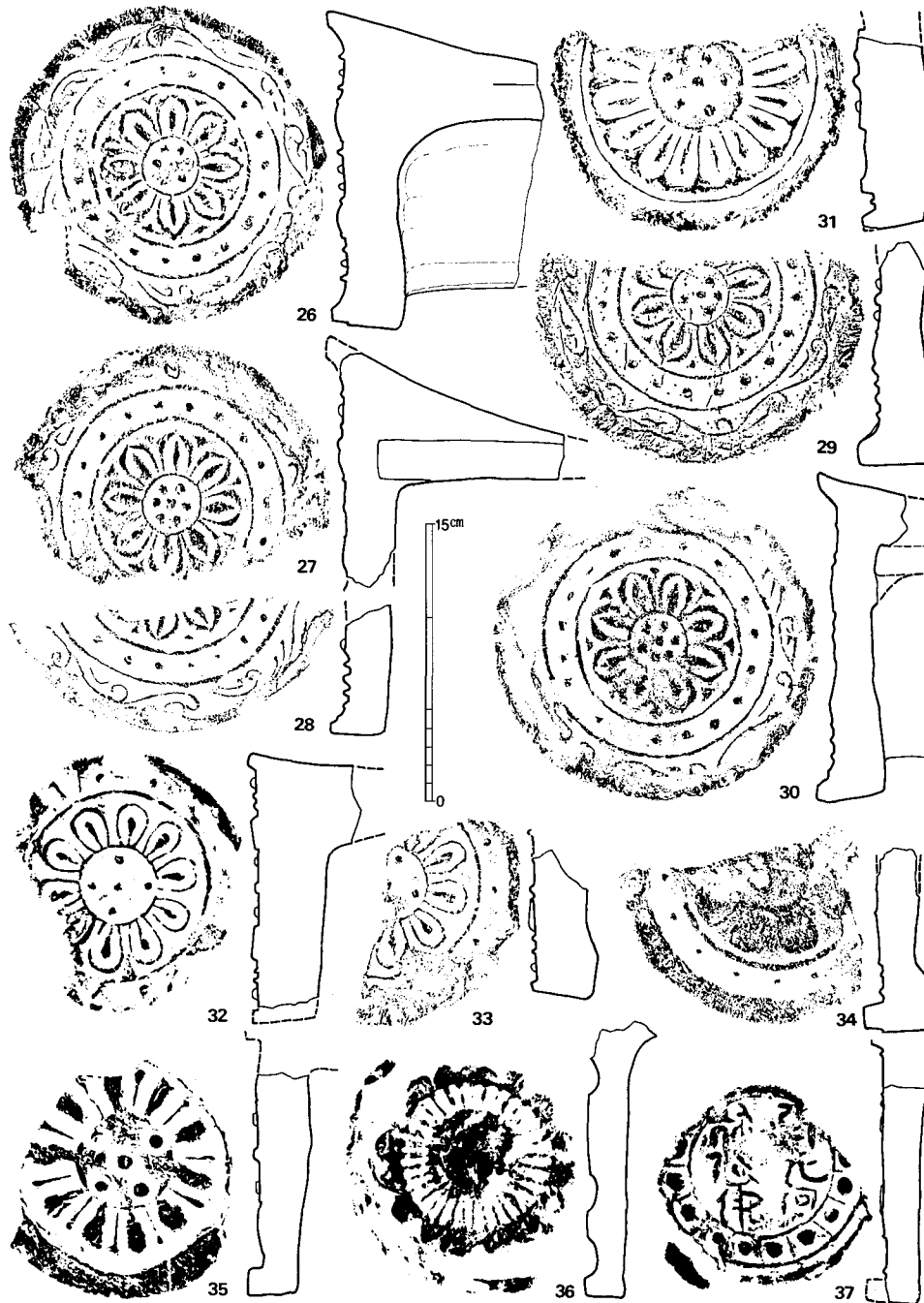


図4 額田寺出土瓦(4)

- 26 唐草紋縁単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第16(1)] [保井 1932-図版第53(疏瓦6)]
- 27 唐草紋縁単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [天理参考館所蔵・保井コレクション]
- 28 唐草紋縁単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [山川 1993-8]
- 29 唐草紋縁単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [前園 1980-図5(1)]
- 30 唐草紋縁単弁八葉蓮華紋軒丸瓦 [山川 1993-5]
- 31 単弁十六葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1932-図版第53(疏瓦8)] [石田 1936-図版第154(11)]
- 32 単弁十葉蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第154(14)]
- 33 単弁十葉蓮華紋軒丸瓦 [保井 1928-図版第17(2)] [保井 1932-図版第53(疏瓦9)] [石田 1936-図版第155(14')]
- 34 単弁蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第155(17)]
- 35 単弁十葉蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第154(13)]
- 36 蓮華紋軒丸瓦 [石田 1936-図版第155(16)]
- 37 「南無阿彌陀仏」銘軒丸瓦 [石田 1936-図版第155(18)]

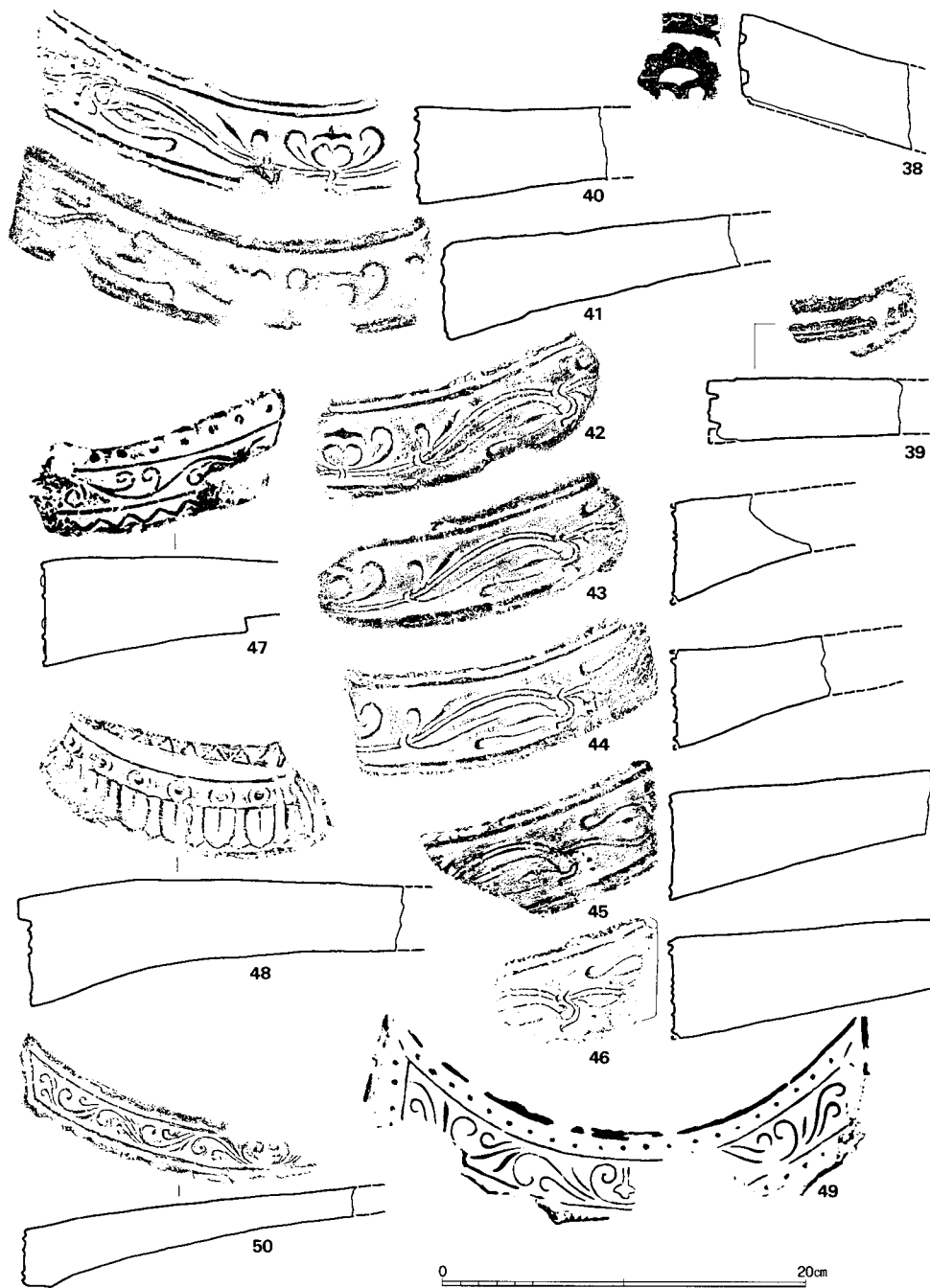


図5 額田寺出土瓦(5)

- 38 手彫り唐草紋軒平瓦 [前園 1979-図6 (1)]
- 39 三重弧紋軒平瓦 [天理参考館所蔵・保井コレクション]
- 40 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [前園 1979-図6 (2)]
- 41 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [石田 1936-図版第 155 (19^a)] [山川 1993-10]
- 42 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [京都大学文学部考古学研究室所蔵拓本]
- 43 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [天沼 1921-図版第 35 (3)] [関野 1928-176]
- 44 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [奈博 1960-487] [京博 1974-55]
- 45 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [保井 1932-図版第 54 (華瓦1)] [石田 1936-図版第 155 (19^b)]
- 46 均整忍冬唐草紋軒平瓦 [保井 1932-図版第 54 (華瓦2)] [石田 1936-図版第 155 (19)]
- 47 偏行唐草紋軒平瓦 [石田 1936-図版第 155 (20)]
- 48 蓮弁紋軒平瓦 [石田 1936-図版第 156 (24)]
- 49 均整唐草紋軒平瓦 [石田 1936-図版第 156 (23)]
- 50 均整唐草紋軒平瓦 [山川 1993-12]

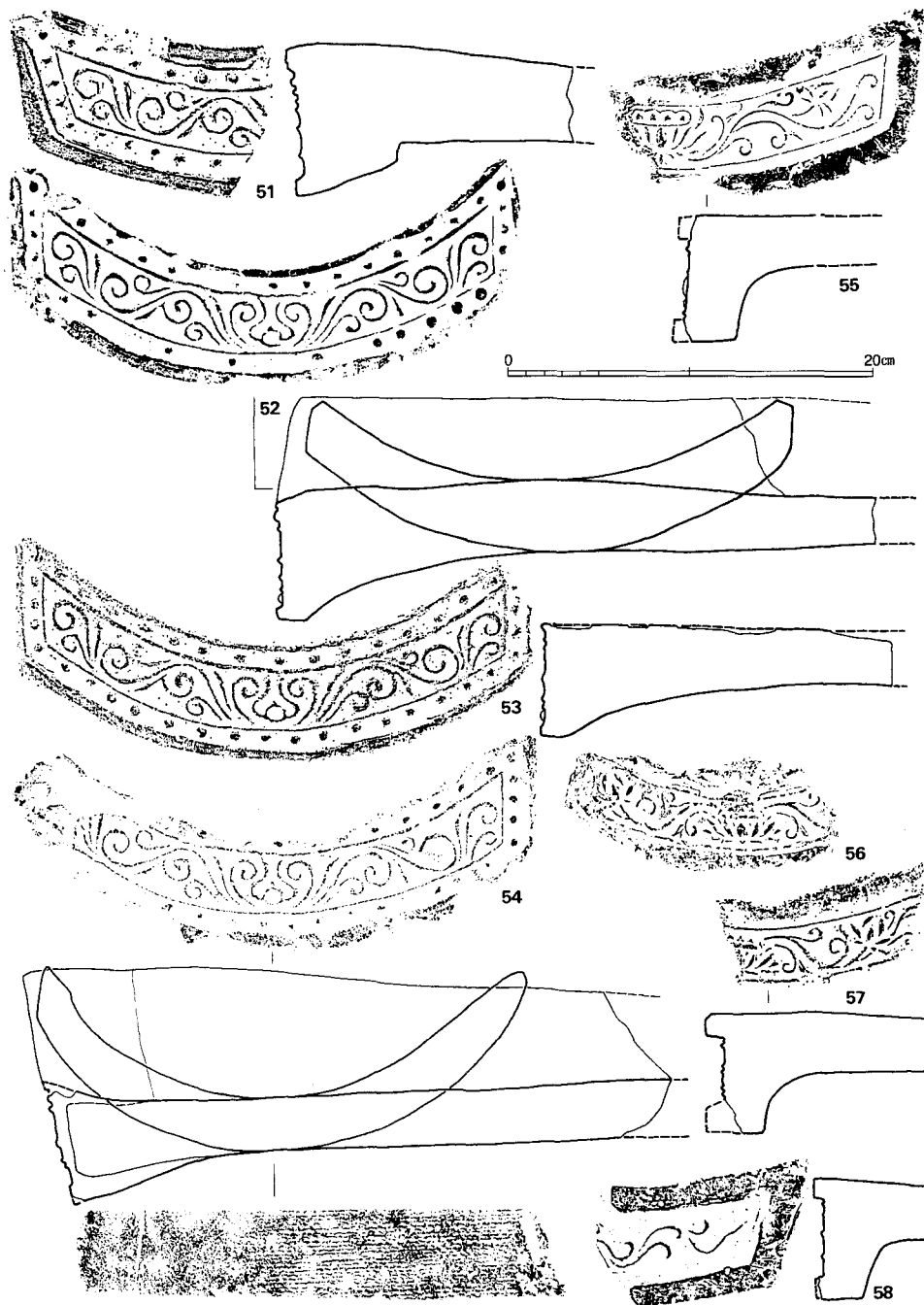


図6 額田寺出土瓦(6)

- 51 均整唐草紋軒平瓦 [前園 1980-図7 (2)]
- 52 均整唐草紋軒平瓦 [前園 1979-図6 (3)]
- 53 均整唐草紋軒平瓦 [前園 1980-図5 (2)]
- 54 均整唐草紋軒平瓦 [保井 1928-図版第42 (2)] [保井 1932-図版第54 (華瓦3)]
- 55 蓮唐草紋軒平瓦 [保井 1932-図版第54 (華瓦5)] [石田 1936-図版第156 (26)]
- 56 蓮唐草紋軒平瓦 [保井 1932-図版第54 (華瓦4)] [石田 1936-図版第156 (25)]
- 57 蓮唐草紋軒平瓦 [前園 1980-図7 (4)]
- 58 均整唐草紋軒平瓦 [前園 1979-図6 (4)]

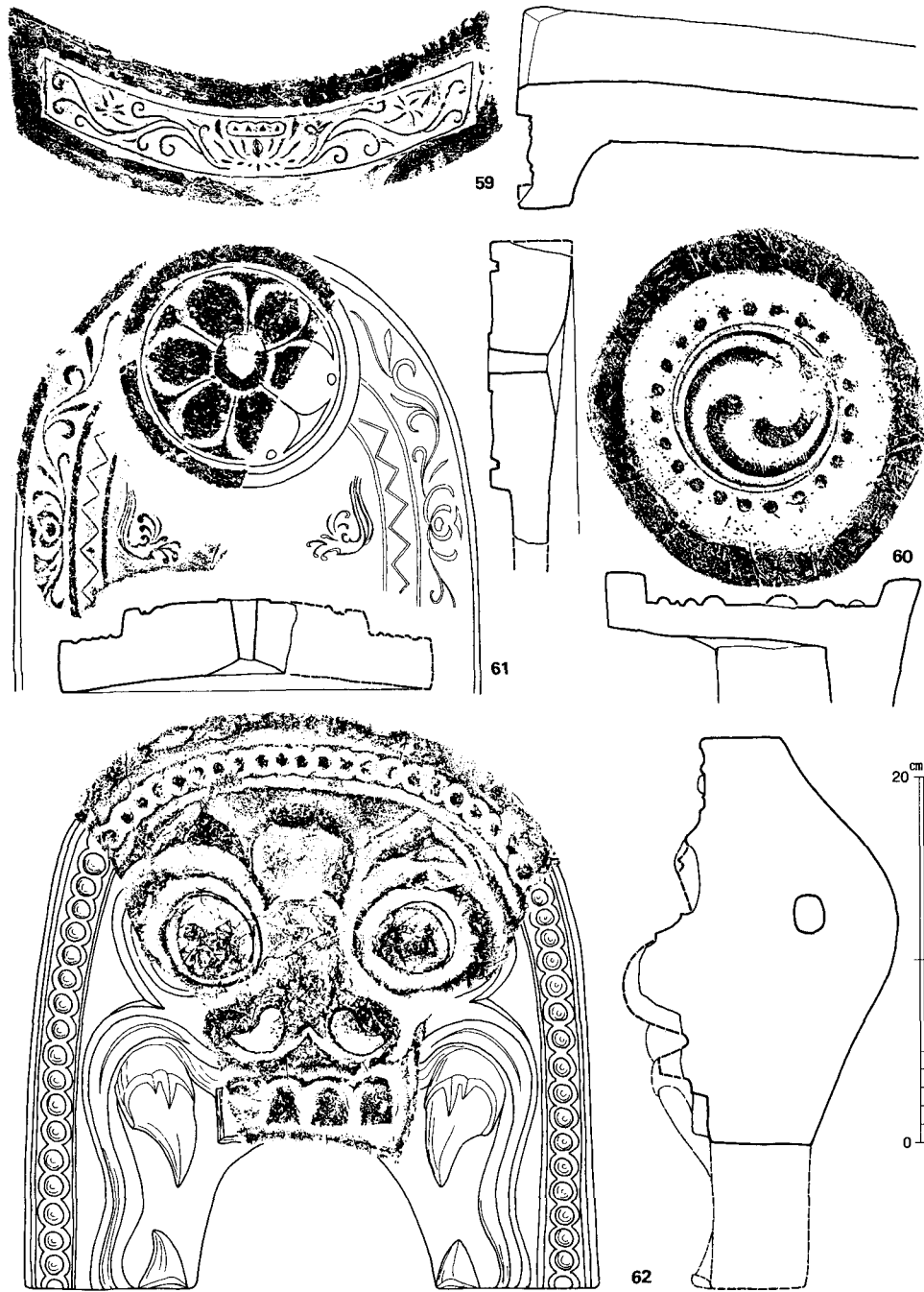


図7 額田寺出土瓦(7)

- 59 蓮唐草紋軒平瓦 [菅井・西村 1987-763]
- 60 巴紋軒丸瓦 [前園 1980-図5 (3)]
- 61 素弁六葉蓮華紋鬼板 [菅井・西村 1987-857] 擬古作
- 62 鬼面紋鬼板 [京大文学部 1968-NARA040]